

木協通信

第74号
発行年月日
令和3年1月5日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167



★日田木材協同組合百年を語る

当時の筏乗りの賃金については、明治三十年八月十六日共算組合の委員会に於いて次の通り決定している。

第一条 筏組乗賃左の通りとす

筏組錠 一人賃金四十銭

但し午前八時より出揃いの事人物に依り合立をなす

筏乗一枚賃金四十五銭

栗角筏一枚賃金五十銭

杭木筏一枚賃金五十銭

下井手浜より一銭、上井手浜より五銭、大部浜より二銭増金するものとす

前各項共酒代共出し切りの事

次号へ続く

★新年のご挨拶



日田木材協同組合
理事長
瀬戸亨 一郎

謹賀新年

昨年、原木価格も製品価格も大きく崩れてしまいましたが、一日も早い回復を目指さねばなりません。年末の製品の動きを見てますと、回復の兆しは近いと感じております。

また、一昨年から取り組んでおります製品米国輸出も、ようやく軌道に乗りかけた矢先に、コロナ禍によるコンテナ不足や船運賃の高騰により出鼻をくじかれております。

一方で今年は、輸入材の動向にも目が離せません。もう少し我慢すれば、国産材の見直しの年になるのでは、と考えております。アフターコロナは、災いを転じて福となすことを目指さねばなりません。

恒例となっております組合事業も思うように開催できず、組合員の皆様には大変申し訳なく心苦しく思っております。行政もいろいろな対策を立てていただいておりますので、なんとかこの荒波を超えていきたいと思います。

今年度は、組合にとりまして設立70周年となります。記念事業として何をなすべきか、年度当初から検討しておりましたが、このほど業界のPR動画が完成いたします。

★組合所有林視察

1月末からKTVで放映されることになっております。組合の将来に少しでも役に立てばとの思いで作成いたしましたので、ご覧いただきご感想等いただければありがたいです。作成にご協力いただいた組合員様に感謝申し上げます。

まだまだコロナ感染者は増え続けておりますが、年度末に向けて役員一体となつて年度前半の落ち込みを回復すべく頑張つて参ります。

本年も昨年同様のご協力の程をお願いし、年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

木協の所有する天ヶ瀬本城山林と前津江山林の視察を11月26日（木）に役員にて行いました。

各山林現場にて図面での全景・位置・境界の確認、林内境界付近へ歩行進入して現地確認を行いました。

天ヶ瀬本城山林は全面積約13haでその内約10haを平成27年に間伐作業を行い約一千二百㎡の材積を伐採・搬出していきます。

前津江山林は全面積約20haあり、その内約6haが平成16年台風で被災。その後直ぐに台風災害の補助事業を活用して再造林をしています。

現地確認をしていただき、前津江山林の残り14haのうち6haを近いうちに間伐することになりました。



★ウッドデザイン賞2020

グランプリ

ウッドデザイン賞受賞対象の中から、最終審査を経て、最優秀賞（1点）・優秀賞（9点）・奨励賞（15点）・特別賞（4点）が選出されました。

総応募数432点より、BITA SUGI しめ縄（有村木材が奨励賞 審査員長賞）に選ばれました。

審査員長 赤池 学 氏
葛絢いに始まり、地産の針葉樹を添えるしめ縄づくりのワークショップ。地元林

業家と協働して、地元の木を使いながらつくるプロセスは、クリエイティブな行為を通じて山側と消費者を結び、素材の面白さや奥深さを伝える。伝統文化を守りつつ現代の暮らしに活かす良質な取組です。」



【審査員長 赤池氏】



【日田市長へ報告】

★高校生が日田スギの商品を開発

福岡市にある雙葉高校生が銀行のものづくり懸賞に応募して、日田スギの加湿器を開発しました。きっかけは、日田がスギで全国的に有名ということを知り、スギを使ったの商品開発を思いつきました。加湿器にした理由はコロナは部屋の湿度を保てば、浮遊が抑えられて感染の拡大を防ぐことが出来るからです。形は①スギの姿と、②富士山と麓の桜の2種類を作っています。この度日田スギの歴史等を知りたいとのこと、先生と生徒3名が日田杉資料館を訪れてくれました。価格は①が2,100円、②が2,800円です。

また先日、日田高校生も研究の一環として日田スギを勉強しているとのこと、グループで資料館に來られました。若い人が日田スギに興味を持って頂くのは、ありがたいことです。



★お知らせ

○令和2年度木づかい促進事業

12月末現在、リフォーム700万円の前追加の分が、約150万円の残りとなっております。ご希望の方はお早目に手続きください。

尚、災害申請は随時、受付をしています。